

外観



1973年に完成した大阪狭山市役所庁舎。築40年が経過しトイレ設備の老朽化が進んでいたこともあり、耐震工事にあわせてトイレの改修工事を実施。

改修前トイレ



改修前のトイレは、壁・床がタイル張り、大便器はほとんどが和式便器であったということもあり、においなどの問題を抱えていた。

女性トイレ 大便器コーナー



環境に配慮し、大便器は4.8L洗浄のパブリックコンパクト便器を採用し、2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットを設置している。

女性トイレ 大便器ブース



男性トイレ同様、女性トイレにもベビーチェアと幼児用便座を備えたひろびろブースを1ヶ所設置している。

男性トイレ 洗面コーナー



カウンターとボウルに継ぎ目がなく、清掃性に優れたボウル一体形カウンターを採用。高齢者や杖歩行の方に配慮して、別に立位姿勢をサポートする手すり付の洗面カウンターを設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



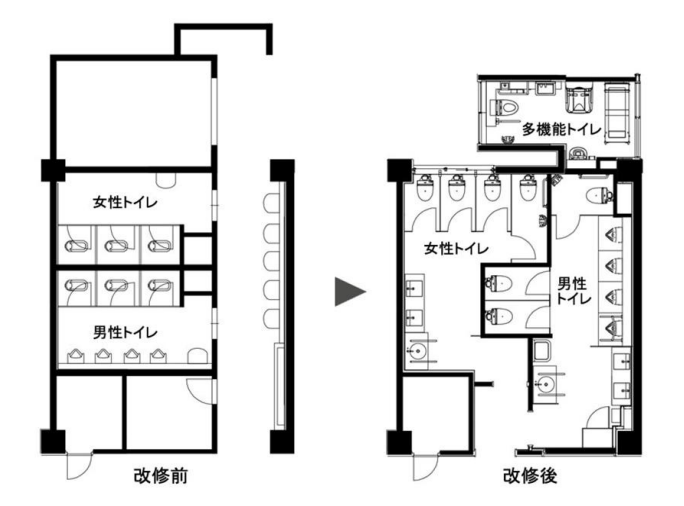
小便器は、床の清掃性や節水性に優れた、壁掛式の自動洗浄小便器を採用。ジアテクト機能により、尿石の付着やにおいの発生を抑制することができる。

多機能トイレ



デザイン性と機能性を兼ね備えたRESTROOM ITEM 01のフラットカウンター・多機能トイレバックを採用。オストメイト対応トイレバック・ベビーシート・ベビーチェア・折りたたみシートなどを完備している。

トイレ図面



通路の一部と給湯室を活用し、多機能トイレの設置などトイレスペースを拡張、充実させた。大便器はすべて洋式便器に変更した。

男性トイレ 大便器ブース



小さなお子様連れに配慮して、男性トイレにもベビーチェアと幼児用便座を備えたひろびろブースを1ヶ所設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



男性トイレ同様、清掃性に優れたボウル一体形カウンターを採用。水栓金具は衛生面に配慮して、ノンタッチで水の出止めができる自動水栓を設置。水の止め忘れもなくなり節水効果が図れる。

建築概要

名 称	大阪狭山市役所
所 在 地	大阪府大阪狭山市狭山1丁目2384番地の1
施 主	大阪狭山市
設 計	株式会社阿波設計事務所
施 工	岩田地崎建設株式会社 大阪支店
工 事 期 間	2013年6月～2014年3月
竣 工 年 月	2014年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
大阪府南河内地域に位置する、大阪狭山市。1973年完成の市役所庁舎は、築40年が経過。このたび耐震工事にあわせて、トイレ設備の老朽化が進んでいたこともあり、トイレ改修工事を実施した。

<トイレの特長>
ほとんどが和式便器であったトイレを、ウォシュレット搭載の洋式便器にすべて変更。さらに、小さなお子様連れに配慮して、すべてのフロアの男女トイレに、ベビーチェアと幼児用便座を備えたひろびろブースを各1ヶ所設置するなど快適性・利便性の向上を図っている。

そのほか、清掃方法を湿式清掃から乾式清掃に変更し、洗面カウンターはカウンターとボウルに継ぎ目がなく、清掃性に優れたボウル一体形カウンター、小便器は床の清掃性に優れた壁掛式小便器を採用するなど、清掃性に優れたトイレ空間を実現している。

<利用者の声>
改修前のトイレは、設備も古くにおいがするなどの問題を抱えていた。改修後は「とてもきれいで利用しやすくなった」と、利用されるさまざまな方たちから喜びの声が上がっている。